

第20回 連続歴史講演会

テーマ 「戦国合戦の習俗」と「滝山城開かずの空間」

講師 山城中田塾 中田正光 氏

第1部 合戦時の習俗（なぜ戦うのか）

軍勢の7割から8割は雑兵（足軽・農兵）といわれた戦国時代、御恩も奉公も武士道も関係ない彼らにとって、唯一の収入源は戦場での乱取りだった。中でも寺社が集中的に狙われた実態を取り上げ、その裏に何があったのか考えてみたい。



<申し込み>

第2部 滝山城開かずの空間

城は、領主や大名といった武士たちだけの特殊空間ではなく、そこには農民や商人、多国の客たちも出入りしていた。ただ、城内すべてが解放されたわけではなく、閉鎖的な機密空間も存在していた。その開かずの場所を探してみたい。



<NPO ブログ>

【日時】令和7年10月26日(日) 13:30~16:00 (受付13:00~)

【場所】八王子市加住市民センター 【定員】90名(先着) 【費用】500円

【申し込み方法】右上 QR コード (右下 QR コード「NPOブログ」からも可能です)

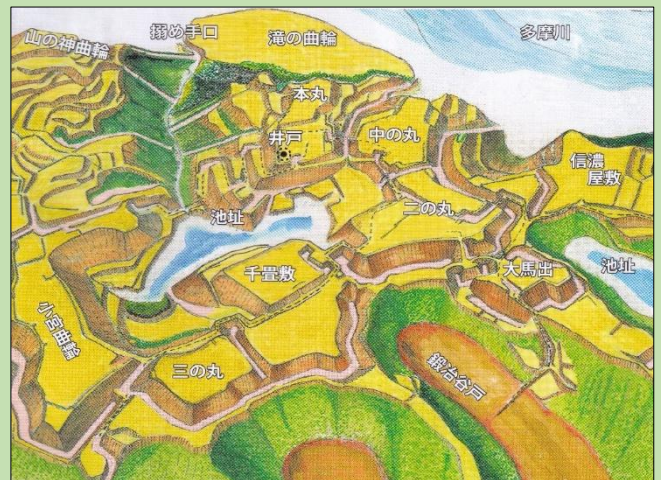
または、下記メールアドレスに、次の項目を送信してください。

(1)名前 (2)住所 (3)年齢 (4)携帯番号 (5)この講演会を知った施設・場所

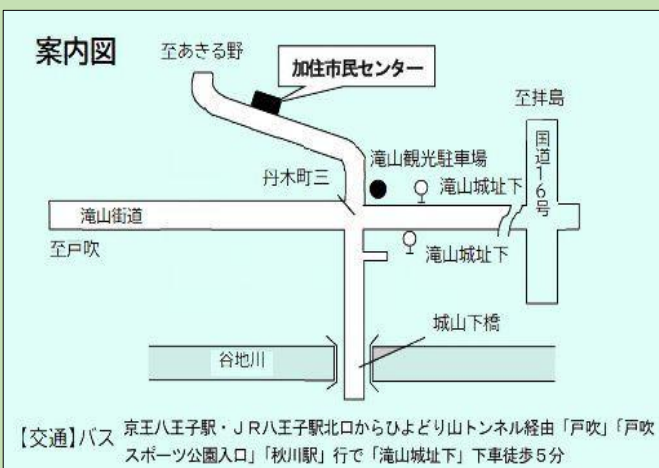
<送り先> npotakiyama@gmail.com



<大馬出方面から見た「二の丸」の巨大な堀>



<滝山城跡の縄張り鳥瞰図>



当日会場で講師の著作(3部作)を**特価**頒布

■戦国の風雲をかけぬけた天下の名城「よみがえる滝山城」
(定価¥700⇒**¥500**)

■中世城郭のからくり「滝山城 戦国絵図」(定価¥600⇒**¥500**)

■関東王国の平和を求めた八王子城主北条氏照「戦国の城は民衆の危機を救った」(定価¥1,500⇒**¥1,000**)

【主催】NPO法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会

【住所】〒192-0003

八王子市丹木町 2-196-4 尾熊治郎

【後援】滝山城跡文化協会、多摩部の公園パートナーズ